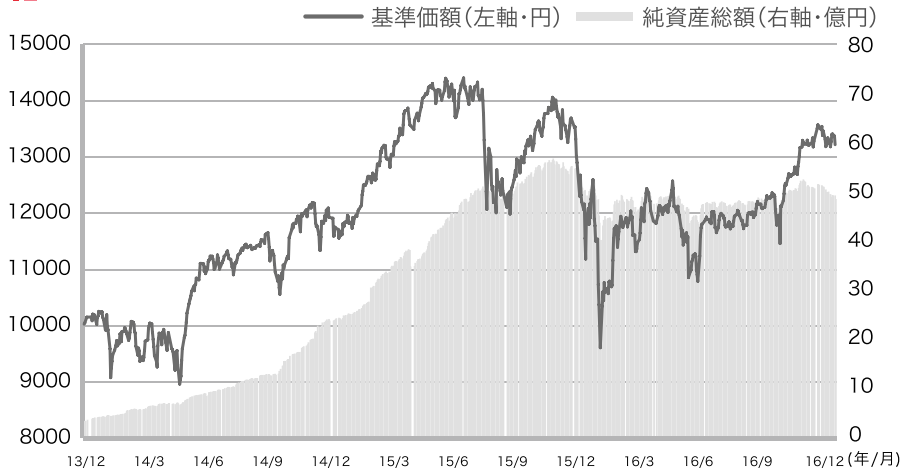




2017年1月31日付

基準価額の推移



分配実績

第1期 (2014年12月18日)	第2期 (2015年12月18日)	第3期 (2016年12月19日)
0円	0円	0円

基準価額の騰落率

過去1ヶ月間	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	設定来
▲0.45%	7.17%	9.90%	7.86%	32.94%	31.60%

※「基準価額の騰落率」は、基準日から過去に遡った期間です。

チーフポートフォリオマネージャーより

受益者の皆様へ

2017年1月中旬には、名古屋、大阪、福岡、東京において、恒例の四半期セミナーを開催いたしました。今回は3周年記念ということもあり、参加者は延べ300名を超える盛況となり、これまでも増して各地域での皆様の熱気と期待を直に感じる事が出来ました。次回は4月中旬に予定しております。また皆様にお会いできることを楽しみにいたしております。

アメリカではトランプ大統領が1月20日に就任し、「アメリカ・ファースト」政策が現実のものとなりつつあります。今後、国際政治や金融、経済がアメリカを起点に大きく変化していく中で、日本経済もまた大きな影響を受ける見込みです。ザ・2020ビジョンはこの変化をチャンスと捉えて対応して参ります。

今年のマーケット環境も変化が大きくなりそうですが、中長期的な強気のスタンスを崩す必要はないと考えています。今後も、皆様のご期待にお応えできるように尽力して参ります。引き続き、よろしくお願い申し上げます。



チーフポートフォリオマネージャー 糸島 孝俊

ファンドのデータ

基準価額	13,160円
純資産総額	4,803百万円

※基準価額の計算において、運用管理費用(信託報酬)は控除して
います(後述の「ザ・2020ビジョンの費用」をご覧ください)。
※当ファンドの信託報酬率は、ファンドの純資産総額の一定の増加に
より逓減する仕組みとなっており、当レポート作成基準日現在、
年率1.242%(消費税込)です。

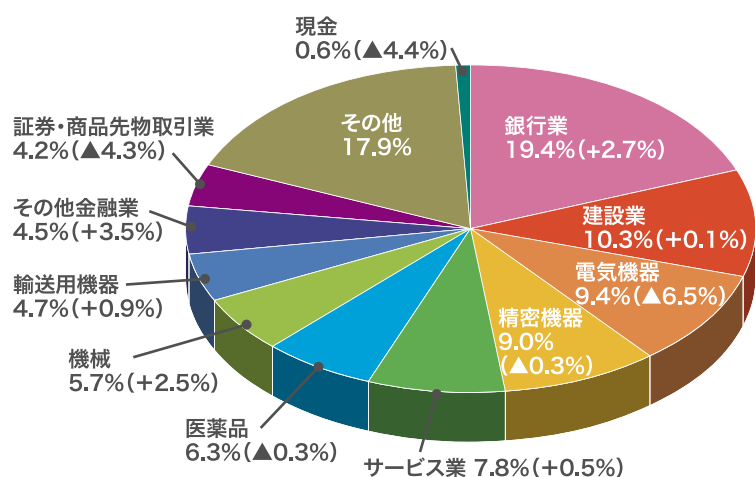
ポートフォリオの構成比 (マザーファンド)

	当月末	前月末比
株式等	99.4%	4.4%
現金等	0.6%	▲4.4%
構成銘柄	53社	0社

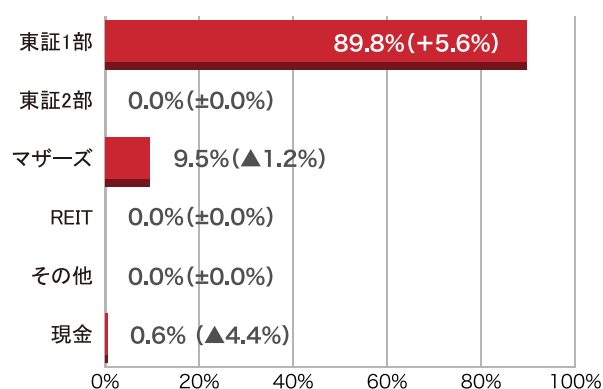
市場概況

1月初旬は、12月の米ISM製造業景況感指数や中国製造業PMIが良好で円安ドル高が進み日本株が上昇、5日に日経平均は月中高値19615円をつけました。その後は、英国のEU離脱懸念再燃や米トランプ次期大統領による記者会見前後の保護主義的な発言などが嫌気され、日経平均は18日に月中安値(ザラ場)18650円をつけました。下旬は19日の米FRBイエレン議長による利上げ前向き発言により、円安ドル高の進行による外需株の業績改善期待、及び米長期金利の上昇による銀行や保険などの収益増大期待などが高まり、相場の上昇を牽引しました。31日は一部移民の入国を制限する米大統領令などにより、米国内外での混乱を懸念した売りが先行して下落しました。

業種別構成比 ()内は前月比



市場別構成比 ()内は前月比



- 比率は純資産総額を100%として計算しております。
- 比率は四捨五入の関係で合計が100%にならない場合があります。
- 業種については東証33分類に基づいて記載しております。

運用状況

◎ 主な投資行動

1月初旬の過熱的な上昇局面は、銀行や証券、及び電気機器などを一部売却することで株式等組入比率(以下、同比率)を一旦70%程度まで引き下げました。その後、トランプ次期大統領の発言などにより日本株が下落する局面(18日に月中安値)においては、銀行業の組入を再度引き上げることに加え、小売業や機械などの組入を増やし、同比率を95%程度まで引き上げました。下旬は、ムニューチン次期米財務長官の発言が円高進行を招いて日経平均が18700円台まで下落した場面こそ一時的に同比率を引き上げましたが、基本的には株価上昇に合わせて27日までに同比率を85%程度まで引き下げました。月末にかけての株価下落局面においては、銀行や保険などの金融関連を買い増して、同比率を99.4%にしました。

◎ ファンド月間リターンとその要因

1月の月間リターンは0.45%の下落となりました。主な要因は先月末より組入比率を引き上げていた医薬品や、今月に組入比率を引き上げた小売業などが下落したことなどによるものです。なお、当ファンドにベンチマークはありませんが、TOPIXは0.20%上昇、日経平均は0.38%下落となりました。

- 組入比率とその内訳、組入銘柄に関する記載は、マザーファンドについてとなります

組入上位5銘柄の紹介

(2016年12月30日現在)

銘柄名		概要
業種	組入比率	
三井住友フィナンシャルグループ		3メガバンクの一角で、銀行業務を中心に、クレジットカード業務、リース業務、情報サービス業務、証券業務などのさまざまな金融サービスにかかわる事業を展開。経営方針は、最高の信頼を得られ世界に通じる金融グループを目指す。
銀行業	6.5%	
野村ホールディングス		日本最大の投資銀行・持株会社。国内ではコンサルティング中心の営業スタイルでストック収入を重視、海外ビジネスでは「グローバルにお客のニーズを繋ぐ」をモットーに、ホールセールを強化し、アジアに立脚したグローバル金融サービスグループを目指す。
証券・商品先物取引業	6.2%	
三菱UFJフィナンシャル・グループ		国内最大の金融グループ。三菱東京フィナンシャル・グループとUFJグループの経営統合により誕生。中長期で、世界に選ばれる信頼のグローバル金融グループを目指す。共有する価値観は「信頼・信用」、「プロフェッショナリズムとチームワーク」、「成長と挑戦」。
銀行業	5.1%	
みずほフィナンシャルグループ		メガバンクの一角。旧富士銀行、第一勧業銀行、日本興業銀行が前身。銀行・信託・証券をフルラインで擁する。「One MIZUHO」の旗印のもと、グループ全体の強化や、日本およびアジア、グローバルの発展を取り込む開かれた総合金融グループを目指す。
銀行業	5.1%	
CYBERDYNE		ロボットスーツHAL(身体機能を改善・補助・拡張することができる、世界初のサイボーグ型ロボット)を医療・介護・福祉分野、労働・重作業分野など人間生活に役立つ領域で展開することを目的として、筑波大学大学院教授が起業した、大学発ベンチャー企業。
精密機器	5.1%	

- 組入上位5銘柄については、開示基準日その他の情報と異なります。
- 業種については東証33分類に基づいて記載しております。
- 比率は純資産総額を100%として計算しております。

未来予想図～20-20vision～

今年1月に開催した四半期運用報告会(東京・名古屋・大阪・福岡)において、「AI(人工知能)が発達していくと運用にどんな影響があるか。AIの発達は脅威ではないか」という質問がありました。質問者の意図としては、AIが発達していくとその役割をAIが完全に代替することができるので、ファンドマネジャーという職業がなくなるのではないかと、言い換えれば、人間がファンドマネジャーであるよりもAIというシステムの方が運用成績を上げられるのではないかとということなのでしょう。

何をもってAIと定義するかには議論もありますが、自動的に何かを判断するシステムをAIとすれば、運用業務は既にAIとも言えるシステムをかなり使いこなしている産業の一つと言えます。いつの時代も運用(金融)業界は、より高いパフォーマンスを求めて時代の最先端テクノロジーを取り入れてきました。したがって、人間とAIの対立軸ではなく、共存共栄の道を歩んでいると私は思っています。重要なことは、人間よりAIが優る分野(単純なスピード競争など)はAIを大いに活用するべきであり、人間はAIで代替できない分野に特化するということです。例えば、現状のAIは過去情報に基づいて将来を予測するため、まだ発生したことの無い事象を想定したり、それが発生した場合の対応策を事前に準備することは出来ないと言われていました。Googleのアルファ碁がプロ棋士に勝利したことが話題となりましたが、運用業界で同じことが起きるにはまだ時間がかかるようです。

2045年にAIが全人類の知性を上回るという「シンギュラリティ」が起きると仮定すれば、ファンドマネジャーが人間からAIに完全移行するという議論を超えて、「お金」の概念が消滅した世界が到来するという予測があります。つまり、AIの発達によりエネルギーコストがゼロとなれば、人類は労働から開放され、衣食住にお金の心配がなくなると、人間から「お金を持ちたい、殖やしたい」という欲求が喪失するという考え方です。そうなればお金を殖やすための運用という産業は存在意義をなくします。それはいつか?早ければ30年後、遅くとも50年後にはそうした世界が見えてくると指摘する有識者がいます。

この仮説が正しければ、私はファンドマネジャーという職業を失うことになりませんが、同時に労働せずにお金の心配なく、やりたいことを思う存分楽しめる人生を満喫できるならば、それも悪くないと思う今日この頃です。皆さんはどう思いますか?

シニアアナリスト兼ポートフォリオマネージャー 鎌田 聡

POINT (ザ・2020ビジョンによる障がい者スポーツ応援プログラム)

当ファンド「ザ・2020ビジョン」からコモンズ投信が受け取る信託報酬の1%程度を、日本の障がい者スポーツのチャレンジャーに寄付をする応援プログラム、「コモンズ POINT」。第4期(ファンドの決算に合わせて第4期とします)応援先を、(特)日本視覚障害者柔道連盟に決定致しましたのでここにお知らせいたします。同連盟は、昨年、受益者の皆さまからの推薦も踏まえ第2期及び第3期の応援先となった団体ですが、応援期間が終わる昨年12月にコモンズ投信全役員に意向を確認したところ、全員が応援継続を希望。外部アドバイザーである日本財団パラリンピックサポートセンターにも相談を重ねたうえで、社内の審査委員会メンバーで審議した結果、同連盟に対する応援を今期も継続することと決定致しました。詳細はプレスリリースをご覧ください。

<http://www.common30.jp/files/uploads/NewsReleasePOINT20170113.pdf>

3月11日の8周年イベント(東京開催)では、同連盟理事である男子監督 遠藤氏が登場。また当日開催するこどもトラストセミナーでは、視覚障害者柔道選手が先生として登場します!みなさまの奮ってのご参加お待ちしております。

◎前年度の報告

2016年12月末、同連盟に対して第2期及び第3期の寄付金額合計72万円を寄付いたしました。



遠藤監督、事務局武内氏がコモンズのオフィスを訪問くださいました。

POINT担当 馬越 裕子

お知らせ

◎Pick up!セミナー

最新のセミナー情報はコモンズ投信ウェブサイトの「セミナー情報」をご覧ください。 <http://www.common30.jp/seminar/>

◎コモンズ投信8周年イベントまであと1ヶ月!

基調講演にはユニ・チャームの高原社長がご登壇されます。また、「2020年に向けて」では、世界的なAIベンチャーで、機械学習・深層学習の研究開発分野で高い成果を挙げているプリファードネットワークス(PFN)のCOO(最高執行責任者)にご登壇いただきます。糸島・鎌田と2020年以降の未来を対談形式でお話いただく予定です。こちらもぜひご期待ください!

The 8th Commons Dialog

～共に創る“対話”の時間～

コモンズ投信8周年イベント
 日時: 3月11日(土)
 10:30～17:30(受付開始 10:00)
 会場: コングレスクエア中野
 (B1Fコンベンションホール)

コモンズ投信 8周年

◎糸島孝俊メディア出演情報

日付	時間	メディア	備考
2月22日(水)	22:00～23:00	BSジャパン「日経プラス10」	22:50頃インザマーケットのコーナーに生出演
2月28日(火)	5:45～6:40	TV東京「モーニングサテライト」	6:30頃「今日の株式見通し」に電話出演

販売会社一覧

販売会社名称		登録番号	日本証券業協会	一般社団法人 金融先物取引業協会	一般社団法人 日本投資顧問業協会	日本商品先物取引協会	一般社団法人 第二種金融商品取引業協会
楽天証券(株)	金融商品取引業者	関東財務局長 (金商)第195号	○	○	○	○	○
(株)SBI証券	金融商品取引業者	関東財務局長 (金商)第44号	○	○		○	
マネックス証券(株)	金融商品取引業者	関東財務局長 (金商)第165号	○	○	○		
(株)静岡銀行	登録金融機関	東海財務局長 (登金)第5号	○	○			
エース証券(株)	金融商品取引業者	近畿財務局長 (金商)第6号	○				

ザ・2020ビジョンの費用について

購入時手数料	(コモンズ投信の場合)ありません。 (委託会社の指定した販売会社の場合)販売会社が、別途定める購入申込手数料を申し受ける場合があります。なお、販売会社における購入申込手数料率は3.24%(消費税込)が上限となっております。
換金手数料	ありません。
運用管理費 (信託報酬)	ファンドの純資産総額に年1.242%(消費税込)を上限とした率を乗じて得た額とします。なお、基準価額は、信託報酬控除後のものです。信託報酬は、純資産総額の一定の増加により逡減する仕組みになっています。
信託財産留保額	ありません。
その他の費用 手数料	当ファンドに組み入れる有価証券等を売買する際の売買委託手数料およびこれにかかる消費税等相当額などの実費が投資信託財産より控除されます。また、目論見書・運用報告書等作成費用、監査費用、信託事務に要する諸費用等として、純資産総額の0.108%(消費税込)を上限として投資信託財産より控除されます。

※上記の手数料(費用)等の合計額については、運用状況、保有期間等に応じて異なりますので、上限額等を事前に示すことができません。

ザ・2020ビジョンのリスクについて

当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資するため、その基準価額は変動します。したがって、お客さま(受益者)の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割込むことがあります。委託会社の運用により生じるこうした基準価額の変動による損益は、すべてお客さま(受益者)に帰属します。なお、投資信託は預貯金と異なります。

※リスクの要因は、上記に限定されるものではありません。詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

お申込みメモ

信託設定日	2013年12月27日
信託期間	無期限(ただし、ファンドの残存口数が10億口を下回った場合等には信託期間の途中で信託を終了させることがあります。)
決算日	原則として毎年12月18日(休業日のときは、翌営業日を決算日とします。)
分配方針等	毎決算時に、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないことがあります。当ファンドは分配金再投資専用です。よって、分配金は税金が差引かれた後、自動的に再投資されます。なお、収益の分配に充てなかった利益については、運用の基本方針に基づいて運用を行います。
購入単位	(コモンズ投信の場合)1万円以上1円単位 (委託会社の指定した販売会社の場合)販売会社によって異なります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。
購入価格	購入申込受付日の基準価額
換金単位	(コモンズ投信の場合)1円以上1円単位 (委託会社の指定した販売会社の場合)販売会社によって異なります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。
換金価額	換金申込受付日の基準価額とします。
換金代金の 支払い開始日	換金申込受付日から起算して5営業日目にお支払いします。
申込締切時間	購入・換金ともに原則毎営業日の午後3時までです。 午後3時を過ぎてのお申込みは、翌営業日のお申込みとして取扱います。

お問い合わせ先

■コールセンター (受付時間/平日 午前9時~午後5時)

03-3221-8730

■ウェブサイト

<http://www.common30.jp/>

◆本資料は、コモンズ投信が投資家の皆さまに情報提供を行なう目的で作成したものであり、投資勧誘を目的で作成されたものではありません。◆このレポートは、信頼性が高いと判断された情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。記載された意見・見通し等は作成日時点のものであり、将来の株価等の動きやファンドの将来の運用成果を保証するものではありません。また、将来予告なしに変更される場合もあります。◆投資信託の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容をご確認のうえ、ご自身の判断でお申し込みください。

金融商品取引業者
関東財務局長(金商)第2061号
加入協会 一般社団法人投資信託協会

コモンズ投信株式会社
〒102-0093
東京都千代田区平河町2-4-5 平河町Kビル5階